

問1	鎌倉幕府を支えた将軍と御家人の関係において、将軍が御家人に対して行った「御恩」の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)			
	1. 全国の荘園や公領から兵糧米を徴収する権利を与えること	2. 京都や鎌倉の警備を行い、将軍の身辺を護衛すること	3. 戦時に軍勢を率いて駆けつけ、命をかけて戦うこと	4. 先祖伝来の領地の支配を認めたり、新たな領地を与えたりすること
問2	鎌倉時代に運慶や快慶らによって制作され、東大寺南大門に安置されている、筋肉の盛り上がりなど力強い写実的な表現が特徴の仏像は何ですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)			
	1. 金剛力士像	2. 弥勒菩薩像	3. 阿弥陀如来像	4. 釈迦三尊像
問3	源頼朝によって国ごとに守護、荘園や公領ごとに地頭が置かれ、武士による統治が広まった時期の政治体制について、北条氏が果たした役割を説明したものとして適切なものはどれか。 (2023年 石川県公立入試 類似)			
	1. 北条氏は有力な御家人による合議制を廃止し、自ら新たな将軍となつて独裁政治を始めた。	2. 北条氏は天皇の監視を行う六波羅探題を世襲し、京都から幕府全体に指令を出した。	3. 北条氏が将軍を補佐する最高職に就き、幕政の実権を握る執権政治を行った。	4. 北条氏は朝廷から関白の地位を与えられ、公家と武士が協力する政治体制を築いた。
問4	13世紀後半、モンゴル帝国の第5代皇帝に即位し、都を大都（現在の北京）に移して、中国風の「元」という国号を定めた人物は誰か。 (2024年 大阪府公立入試 類似)			
	1. マルコ=ポーロ	2. 北条時宗	3. チンギス=ハン	4. フビライ=ハン
問5	鎌倉時代において、将軍と御家人の間には土地を媒介とした主従関係が築かれました。このうち、将軍が御家人のこれまでの領地を保証したり、手柄を立てた者に新たな領地を与えたりする行為を何と呼びますか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)			
	1. 寄進	2. 安堵	3. 御恩	4. 奉公
問6	ある御家人の父親が亡くなった際、その領地を5人の兄弟姉妹で均等に分け合つて引き継ぐ状況を想定します。このような相続の形態が繰り返された結果、鎌倉幕府の社会で起きた現象として最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)			
	1. 一族の人数が増えることで開墾が進み、全国的な農地面積が飛躍的に拡大する要因となった。	2. 個々の武士が所有する領地が狭くなり、武士としての義務を果たすための経済力が不足した。	3. 女性にも相続権があったため、女性地頭が急増し、幕府の要職の多くを女性が占めるようになった。	4. 領地の売買が禁じられていたため、土地を失う武士は現れず、幕府の統治は長期にわたって安定した。
問7	鎌倉時代、フビライによって建国された国が博多湾沿岸へと侵攻してきました。この国の名称として正しいものはどれですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)			
	1. 清	2. 唐	3. 元	4. 明
問8	鎌倉幕府が1221年に起こった承久の乱のあと、京都に「六波羅探題」という新しい機関を設置した主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)			
	1. 源頼朝が征夷大將軍として、朝廷から正式に幕府の開設を認めさせるため	2. 御家人たちの領地争いを公平に裁くための、最初の武家法を制定するため	3. 後鳥羽上皇側の動きを監視するとともに、西国の武士たちの統制を強めるため	4. 元（モンゴル帝国）の襲来に備えて、西日本全体の防衛体制を整えるため
問9	1221年に後鳥羽上皇が倒幕の兵を挙げた「承久の乱」の後、鎌倉幕府が朝廷の動きを常に警戒し、西国の武士を統率するために京都に新しく設置した機関として正しいものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)			
	1. 六波羅探題	2. 管領	3. 鎌倉府	4. 侍所
問10	13世紀、モンゴル帝国のフビライ・ハンが中国に建てた王朝で、二度にわたって日本に侵攻してきた国の名称を何といいますか。 (2023年 富山県公立入試 類似)			
	1. 高麗	2. 明	3. 元	4. 清
問11	平安時代末期に平清盛が神戸の大輪田泊を整備して積極的に推し進めた中国の王朝との貿易において、大量に日本へ持ち込まれ、その後の国内で土地の売買や年貢の納入に広く用いられるようになったものは何ですか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)			
	1. 絹織物	2. 鉄砲	3. 仏像	4. 銅銭
問12	鎌倉時代、将軍と主従関係を結んだ武士（御家人）は、将軍から領地の支配を認められるなどの「御恩」を受け一方で、将軍に対して「奉公」と呼ばれる義務を果たしました。この「奉公」のうち、平時に行われた軍役の内容として正しいものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)			
	1. 京都の警備などを担当する京都大番役や、鎌倉の警備を行う役目	2. 九州北部の沿岸に配置され、外国の侵攻に備えて防衛にあたる役目	3. 道路や関所の維持管理のため、領地で収穫された米の半分の納める義務	4. 領地の収穫量である石高に応じて、定められた人数の兵を出す役目
問13	13世紀後半、元寇における軍役の負担や貨幣経済の浸透により、鎌倉幕府に仕える武士たちが経済的に困窮する事態となりました。この状況を改善するために、1297年に幕府が出した法令の内容とその背景として最も適切なものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)			
	1. 明との正式な貿易を開始して幕府の財政を立て直すため、特定の商人にのみ貿易の独占権を与えた。	2. 異国船の来航による混乱を防ぐため、海岸に近づく外国の船をためらわずに撃退するよう各地の役人に命じた。	3. 大名の勢力を統制し武士の規律を正すため、城の無断修理や勝手な婚姻を禁止する厳しい基準を設けた。	4. 元寇が防衛戦であり恩賞として与える土地が不足していたため、生活に苦しむ御家人の借金を帳消しにさせた。
問14	鎌倉幕府が、1221年の出来事の直後に朝廷の監視や西国の御家人の統轄を行うために取った対応として正しいものはどれか。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)			
	1. 大宰府に鎮西探題を置き、元（モンゴル帝国）の侵略に備えさせた。	2. 室町に室町幕府を開き、朝廷の御所を監視下に置いた。	3. 京都に六波羅探題を置き、朝廷の監視や西国の統轄を行わせた。	4. 平城京に守護と地頭を配置し、全国 の荘園からの年貢徴収を命じた。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 先祖伝来の領地の支配を認めたり、新たな領地を与えたりすること	将軍と御家人の主従関係は、土地を仲立ちとして成り立っていました。将軍が御家人の所領支配を保証することを「本領安堵」、手柄に対して新しい土地を与えることを「新恩給与」と呼び、これらを総称して「御恩」といいます。一方、御家人が軍役や警備などを担うことは「奉公」と呼ばれ、両者はギブ・アンド・テイクの関係で結ばれていました。
問2	答え 1 金剛力士像	鎌倉文化を代表するこの仏像は、運慶や快慶らが寄木造の手法を用いて制作しました。平安時代の優美な仏像とは異なり、武士の気風を反映した力強い写実的な表現が特徴です。阿弥陀如来像は平等院鳳凰堂（国風文化）、釈迦三尊像は法隆寺金堂（飛鳥文化）にある仏像です。
問3	答え 3 北条氏が将軍を補佐する最高職に就き、幕政の実権を握る執権政治を行った。	鎌倉幕府の基盤が整備された後、北条氏は源氏の将軍に代わって政治の実権を掌握しました。北条氏は自ら将軍になるのではなく、あくまで「将軍を補佐する立場（執権）」として政治を主導したのが特徴です。また、初期には有力御家人の合議制を取り入れつつ、次第に北条氏への権力集中を進めていきました。
問4	答え 4 フビライ=ハン	モンゴル帝国の創始者であるチンギス=ハンの孫にあたります。中国全土を支配し、国号を元と定めて帝国を拡大させました。日本に対しても服属を求める使節を送りましたが、鎌倉幕府がこれを拒否したため、二度にわたる蒙古襲来（元寇）を指揮することとなりました。
問5	答え 3 御恩	鎌倉幕府の基盤は、将軍と御家人の間の土地を通じた契約関係にありました。将軍が御家人の領地を保証する「本領安堵（ほんりょうあんど）」や、戦功に対して新しい領地を与える「新恩給与（しんおんきゅうよ）」をまとめて「御恩」と呼びます。これに対し、御家人が軍役や京都・鎌倉の警備を行う義務を「奉公」と言い、この双方向の関係が幕府を支えました。
問6	答え 2 個々の武士が所有する領地が狭くなり、武士としての義務を果たすための経済力が不足した。	鎌倉時代初期には女性にも相続権が認められ、子たちに領地を分ける分割相続が行われていました。しかし、この仕組みは「領地の細分化」を招き、一人の御家人が得られる収入を減少させました。その結果、武士は武器や馬を用意して軍役を果たすことが困難になり、借金をして土地を失う者が現れるなど、幕府の基盤を揺るがす深刻な社会問題へと発展しました。
問7	答え 3 元	チンギス・ハンの孫であるフビライが、モンゴル帝国から国号を改めて建国した。13世紀後半、二度にわたって日本に軍隊を送り込み、北九州の博多湾などで激しい戦闘を繰り広げた。
問8	答え 3 後鳥羽上皇側の動きを監視するとともに、西国の武士たちの統制を強めるため	承久の乱は、後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして兵を挙げた事件です。これに勝利した幕府は、二度と同じような反乱が起きないように、朝廷がある京都を監視し、さらにそれまで幕府の支配が十分でなかった西日本の武士たちを管理する必要がありました。そのために置かれたのが六波羅探題です。
問9	答え 1 六波羅探題	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、それまで支配が及びにくかった西国への影響力を強める必要がありました。そこで、かつて平氏の拠点であった京都の六波羅にこの機関を置き、朝廷の監視や西国の御家人の統率を行わせました。侍所は軍事や警察を担う幕府の機関、鎌倉府や管領は主に室町幕府で見られる仕組みです。
問10	答え 3 元	モンゴル帝国はチンギス・ハンによって建国され、その孫である第5代皇帝フビライ・ハンが1271年に国号を「元」と改めました。元は日本に対して服属を要求しましたが、鎌倉幕府がこれを拒否したため、文永の役（1274年）と弘安の役（1281年）の二度にわたる侵攻（元寇）が起きました。
問11	答え 4 銅銭	平清盛は日宋貿易を促進するために大輪田泊（現在の神戸市）を修築しました。この貿易では、日本からは金や硫黄などが輸出される一方、中国の宋からは大量の銅銭が輸入されました。これにより、それまでの物々交換を中心とした経済から、貨幣を用いる経済への転換が始まり、鎌倉時代にかけて国内の貨幣流通を支える重要な役割を果たしました。
問12	答え 1 京都の警備などを担当する京都大番役や、鎌倉の警備を行う役目	鎌倉時代の主従関係において、御家人が果たすべき奉公には、戦時に軍勢として加わるだけでなく、平時に京都や鎌倉を警備する義務が含まれていました。京都を警備する役目は「京都大番役」と呼ばれます。石高に応じた軍役は江戸時代の仕組みであり、九州を警備する防人は古代の制度であるため、時代背景の違いに注意が必要です。
問13	答え 4 元寇が防衛戦であり恩賞として与える土地が不足していたため、生活に苦しむ御家人の借金を帳消しにさせた。	元寇は外国からの侵略を退ける防衛戦であったため、幕府は敵から奪った土地を御家人に恩賞として十分に分配することができませんでした。さらに、この時期には貨幣経済が広まっており、軍費の負担で借金を抱える武士が急増していました。鎌倉幕府はこうした御家人の困窮を救うために「永仁の徳政令」を出し、御家人が売却したり質に入れたりした土地を無償で取り戻させ、借金を帳消しにする措置をとりました。
問14	答え 3 京都に六波羅探題を置き、朝廷の監視や西国の統轄を行わせた。	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、再発を防ぐために京都に六波羅探題を設置し、朝廷の監視や西国の御家人を統轄させました。